

有害プランクトン情報 第3号

福岡県水産海洋技術センター有明海研究所

令和8年8月13日

8月13日の調査で有害プランクトンであるシャットネラ属(*Chattonella* spp.)が引き続き確認されました。最大出現細胞数は30細胞/mlでした。シャットネラ属による赤潮および着色域は確認されませんでした。海水が着色しない細胞数(数十細胞/ml)でも魚介類をへい死させる恐れがあります。漁船の活け間や港内に魚介類等を活かしている方は、よく観察し、異常がみられた場合は早期出荷などの対応を検討してください。

【調査地点図】

